



2021年12月23日

各 位

東京都中野区本町一丁目 32 番 2 号
会 社 名 アクセルマーク株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 松川 裕史
(コード番号：3624 東証マザーズ)

債務超過解消による猶予期間の解除に関するお知らせ

当社は、2020年9月期において債務超過の状況となり、株式会社東京証券取引所における上場廃止に係る猶予期間入り銘柄となりましたが、本日（2021年12月23日）、2021年9月期の有価証券報告書に関東財務局に提出した結果、2021年9月期において債務超過が解消されたことにより、株式会社東京証券取引所より猶予期間入り銘柄を解除されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 対象となる法定開示書類

有価証券報告書（第29期 自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

2. 債務超過解消に至った経緯

当社は、2020年9月期において、これまで損失計上が続いていたゲーム事業や新規事業の撤退を含めた事業構造の転換に着手するとともに、固定資産の減損損失等の特別損失を計上したこと等により、171百万円の債務超過となりました。

この状況を解消するため2021年9月期には、より一層の収益構造の改善に努めるとともに、広告事業の事業拡大に注力したことにより、同事業が過去最高の売上高を更新したこと、コスト抑制効果もあり当期純利益74百万円を計上するに至りました。

また、財務活動において2021年4月に第2回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第23回新株予約権を発行しました。これらの一部が行使されたことにより、965百万円の資金を調達するとともに、純資産が増加いたしました。

その結果、当社の2021年9月期末時点の純資産の額は691百万円の資産超過となり、債務超過を解消いたしました。

3. 今後の見通し

当社は、2021年9月期において黒字転換を達成し、2022年9月期以降においても更なる成長をするために、主力事業である広告事業においては積極的な事業推進により事業拡大を図り、安定した収益基盤をつくってまいります。また、ブロックチェーンゲーム関連事業、IoTヘルスケア事業を成長事業とするべく事業基盤の構築に注力し、企業価値及び株主価値の向上に努めてまいります。

以上